１９７７年１２月３日第３種郵便物認可（毎月 18 回 1･2･3･5･6･7 の日発行） ２０１６年１２月２４日発行ＳＳＫＰ増刊通巻６５０６号はばたけだより NO. １３２

SSKP はばたけだより vol.132

はばたけ秋まつり 開催！

ご来場のみなさまありがとうございました！

お子さんに大人気！あきまつり記念　顔だしパネル
はばたけ利用者のてづくりです！

スペシャルゲスト！ピクリプさん
“孤独のグルメ”で音楽を担当しているお二人の貴重なステージ。ありがとうございました！

地域で活動するみなさんのステージ！
はばたけの利用者もダンスを披露しました！

ほのぼのネット野崎西班の皆様、三鷹第 2 中学校様、三鷹市西児童館様、出演者の皆様、ベーカリーぱぱん様、ボランティアの皆様、ご協力いただいたすべての皆様ありがとうございました。

社会福祉法人 おおぞら会

社会福祉法人として さらに一歩を！

社会福祉法人おおぞら会　理事長　西原雄次郎

障害の重い人達が暮らすグループホーム

私は、2015 年の本誌の新年号に、「障害の重い人たちが安心して暮らせるグループホームを開設したい」という、私たちの法人としての〝目標〟を書かせていただきました。それから 2 年が経過してしまいました。あと一歩のところまでこぎつけながら、様々な事情で断念せざるを得ないことが重なったりしました。希望と落胆の繰り返しだったようにも思います。でも、この目標をあきらめた分けではありません。時間がかかり過ぎているというお叱りを受けるかも知れませんが、粘り強く、また出来るだけ早く実現するべく、さらに努力を重ねたいと思います。

被害者・加害者にさせないための寄り添い

2017 年は特に、利用者の皆さんを被害者にさせない、また加害者にさせないための実践を続けたいと思います。言葉による自己表現にハンディのある利用者の皆さんに、今まで以上に寄り添い、その気持ちを察知し、**その代弁者として**の支援が出来るよう、**聴く力**を高める努力を重ねたいと思います。地域社会の一員として、多くの人々と関わりながら、お互いに安全に暮らすことが出来るよう、**その仲介者として**の役割を果たしたいと思います。

高齢者とその養護者を支援する仕事

2011 年 8 月から始めた認知症の高齢者の皆さんを支援する「野ざきの家」の仕事も 5 年以上が経過しました。職員の皆さんのたゆまぬ努力のおかげで、地域の中で良い評価を得ることが出来ています。これまでのおおぞら会には無かった、新しい地域ネットワークも構築されつつあります。今年は安定経営に向けて、関わる全ての皆さんと協力して知恵を出し合い、飛躍の年にしたいと思います。

課題は山積していますが･･

さて、社会福祉法人おおぞら会は残念ながら資金力が豊かではありません。それでも、小さいながらも、現在 4 ヶ所に分かれて 7 種の事業を展開できています。それは、日々元気に通ってきて下さる当事者の皆さんとそのご家族の皆さんがおられるからです。公的な補助金と後援会員の皆様や多くの皆様からの寄付が途切れることなく続いているからです。日々実践を続けて下さる職員の皆さんの努力があるからです。

これからもあきらめることなく、必要とする人がおられる限り、社会福祉法人としての役割を果たしていきたいと役員一同、思っています。

社会福祉法人のあり方が議論されていますが、法人設立時の理念を忘れず、いっそうの努力を重ねたいと思います。
この一年も変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

小規模多機能型居宅介護　野ざきの家

皆様、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

野ざきの家は、高齢者の在宅生活を支えるための「通い（デイサービス)」「訪問（ホームヘルプ)」「泊まり（ショートステイ)」を一つの事業所で行うことのできる多機能型の施設です。そして、24時間 365 日稼働しています。今回は、1 年のスタートということで、そんな職場で働くタフで個性豊かな職員たちをご紹介したいと思います。

まずは、細やかな気遣いでお一人お一人の生活を第一に考え、様々なアイディアを提案してくれる女性職員…「優しさ」がにじみ出ていて思いやりあふれる、そして頼りになる存在です。つぎに、釣りが大好きで、車の知識も豊富な男性職員…彼の話に、海沿いに住んでいた利用者さんは、思い出がよみがえり、懐かしそうにそして興味深げに耳を傾けます。記憶を呼び起こすきっかけは、ちょっとした会話や人とのふれあいの中にあるもので、いろいろな引き出しを持っていることは職員としても強みだなと思います。そして、お料理上手で心のこもったおいしい料理をふるまってくれる職員。お料理と同様、会話の中にもスパイスをきかせるのが上手！彼女の「冗談」で野ざきの家は常に爆笑の渦になります。笑いは健康の源！利用者さんの心と体の健康にも、どんなお薬より効果があるのではないかなと思っています。お次はイラストが得意な職員。彼のイラストで、いつも行事の案内状や写真のフレームなど作成しています。それを受け取った時の利用者さんの笑顔が本当に嬉しそうです。野ざきの家にはもったいない！？くらいのセンスは、様々な活動にアクセントを加えてくれています。最後に、長年勤めていた施設から「地域生活を支える支援がしたい」との思いで、今年度から野ざきの家に入職した女性職員。天然なところがありすでに「野ざきの家の潤滑油」として存在感を発揮しています。また主に夜勤の職員 1 名、ルーテル学院大学の学生 6 名、非常勤の看護師 1 名、事務員 1 名、愛犬「くう」もみなさんに「癒し」を提供しています。以上、現在 15 名と 1 匹の職員が野ざきの家を盛り立ててくれています。現状で満足している職員は一人もいなく、今年も“常に向上心を持って”日々奮闘し、利用者さんの生活を支えていきたいと思います。

そして、そのほかにも、現在野ざきの家には「折り紙ボランティア」の方が週 1 回、「音楽ボランティア」の方が月 1 回来てくださっています。活動の幅が広がり利用者さんも大変喜んでいます。ボランティアの方もそれぞれお忙しい中で、ご自分の「得意」や「好きなこと」を通して地域とつながり活き活きと活動されています。地域での活動が活発になれば「新たな街づくり」が模索出来るかもしれません。三鷹市では 28 年度から「生活支援コーディネーター」が配置され、様々な地域活動を展開しています。野ざきの家のある西部地区では「地域の方が集える場所」を積極的に展開し、新たに 4 か所活動がスタートしました。地域の方々が知り合える場があることで、声を掛け合える関係、助け合える関係ができ、地域での暮らしに安心が生まれます。「みんな一人じゃない」と思える社会に成るよう、自分達に出来ることを探していきたいと思います。　（管理者　齋藤貴彦）

～ 工房 時 ニュース ～

【就労移行・就労継続Ｂ型】

新年明けましておめでとうございます。おかげさまで良い新年を迎えることができました。本年も昨年同様よろしくお願い申し上げます。

さて工房時では 10 月６日～７日、茨木県大洗旅行に行ってきました。台風が心配されましたが、日頃の行いが良く？上手く避けることが出来ました。一日目の午前中は「筑波宇宙センターJAXA」、宇宙船を見たり、宇宙ステーション内部に入ったり、宇宙服を着て写真を撮ったりすることが出来ました。午後は「ひたち海浜公園」、遊園地で乗り物に乗る、公園を散策する、サイクリングをする、といった三つのグループに分かれて楽しみました。テレビでもよく紹介されているコキア(ほうき草)の丘を散策したり、乗り物を楽しんだり、自転車で疾走したり…秋の空気を満喫！

二日目は「アクアワールド」、イルカやアシカのショーや色鮮やかな魚を見たり、かわいいペンギンを見たり、館内の店で買い物をしたり、また海を眺めている人もいて、一人一人がその人なりに楽しんでいました。最後は「めんたいパーク」で明太子の工場見学をしました。2 日目はずっと快晴でとても気持ちの良い時間を過ごすことが出来ました。

夜は宴会、これが一番の楽しみ！といった人も多かったようです。乾杯から始まり、おいしい料理に舌鼓を打ち、話が盛り上がり・・・楽しい時間を過ごしました。最後はやはりカラオケですね。みんな歌が上手くて感心しました。懐かしいポップスを音程バッチリで歌う人、演歌を情感たっぷりに歌う人、所員も職員もみんなが盛り上がって楽しむことができました。普段いっしょに仕事をしている仲間と飲んで食べて歌って語らい合って、本当に楽しく、あっという間に時間が経ってしまいました。所員の皆さんが楽しそうに話したり笑ったり、また歌っている姿を見ることは、職員として本当にうれしいことです。この仕事をしていて良かったなあと感じられる時間でした。

早朝、所員の一人と温泉に入りました。露天風呂につかりながら、日頃の仕事のこと、仲間のこと、将来の夢についてなど、様々な話をしました。悩んでいることや困っていることがありながらも、将来の希望を語る彼に寄り添い、いっしょに夢に向かって歩んで行きたいと強く思いました。所員とゆっくり温泉につかりながら語り合うことが出来るのも、旅行の良いところですね。

（管理者　立野信行）

工房時の焼き菓子セット。

5 個入り 1200 円(税込)です！

工房時の人気のクッキーやケーキなどを詰め合わせ！
さくらんぼ色のあたらしいパッケージがかわいい手土産セットです。お買い求めは、工房時まで…！

アクティビティセンター はばたけ 【生活介護事業】

～地域とのつながりを大切に～

はばたけでは、創作や調理、運動や買い物など社会経験を増やす取り組みのほか、みなさんのできる力を活かした製品づくりをしています。

はばたけの主力商品はなんといっても牛乳パックをリサイクルしてつくった『てすき製品』。ラインナップも、名刺やカレンダー、ポチ袋などたくさんあります。また、てすきの原料をコロコロ丸めて作ったアクセサリーも製作。牛乳パックを切るところから、原料づくり、紙漉き、印刷など、利用者の皆さんがどこかの工程に携われるというのもいいところで、まさにみんなの力が集まってできるのが、このてすきの商品なのです。

そしてたくさんの商品をつくるためには、なんといっても必要なのが大量の牛乳パックです。ご近所の方が持ってきてくださったり、近くの京王ストアでいただいたり、これまでもあれこれ調達していたのですが、もっと定期的にたくさんのパックがもらえるところはないかと考え、牛乳やクリームをたくさん使うところ…と思いついたのが「ケーキ屋さん」！そこで白羽の矢を立てたのが、いつもお茶会のケーキを買いに行くご近所の『おやつのう～お』さんでした。

『おやつのう～お』さんは、はばたけから歩いて3分。武蔵境駅から南に伸びる「かえで通り」沿いにあります。“街のおやつ屋さん”として「地域の皆さんと近い距離で、子どもも大人もわくわくするようなお店にしたい」という店主の思いがいっぱい詰まった店内は、おやつの森に迷い込んだような可愛らしい世界が広がっています。はばたけでも何度も買いに行かせてもらっていて、みんないつもショーケースの前で目をキラキラさせてケーキを選んでいます。

今回のパック提供のお話も、お忙しい中のひと手間となることですが快諾して下さり、この秋から定期的に回収させていただくようになりました。いつもやさしく迎え入れてくれて手渡して下さることで、利用者の皆さんも「このいただいたパックで自分たちの製品を作るんだ」という自覚にもつながっています。もっと地域に根ざした施設になるよう、今年もこのような新たな『つながり』をたくさん作っていきたいと思います。

（管理者　入倉暁子）

おやつのう～お
oyatu no wuo

う～おくんのしっぽロール

奥久慈鶏卵のこくとはちみつの風味がやさしい、う～おの看板商品！

夕方には売り切れることも…大人気の彗星シュー

サポートネットあすは

【移動支援・行動援護・同行援護・居宅介護事業】

皆さま、新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年秋は虐待防止研修に始まり、視覚障害・知的障害それぞれのガイドヘルパー養成研修の開催など研修の秋でした。7 月に津久井やまゆり園で事件が起き、研修の中でも講師の方々がこのことに触れていました。上手く言葉にできずにもどかしいのですが、改めて「私たちの仕事は何なのか」「なぜ、このような事件が起きてしまったのか…」など、今も色々と考えさせられています。

そんな中で一番に感じたことは、相手のことを考える想像力がとても大切ということでした。「きっと〇〇に違いない」という自身の決めつけや思い込みが、時に相手を傷つけたり、極端なことを言えば差別や偏見につながっていたりするのだと感じました。日々の支援においても同じです。例え善意からだとしても、自分の思い込みだけで動くことへの危険性を認識しました。もしかしたら相手はこう感じているかもしれない、あの行動の理由は何だったのだろう…と想像力を働かせ、他の支援者と分かち合うことが本当に大切なことだと思います。

ガイドヘルパー養成研修では、受講生の方々の実習として、東大和にある BIGBOX というレジャー施設へグループで外出しています。年に２回、ほぼ必ず出かけているので参加される利用者の方々も慣れたもの。職場の仲間や、ヘルパーさん達とボウリングやカラオケで盛り上がっています。そんな姿を見てもらうことが、周囲の人々の思い込みや決めつけを解くきっかけになるかもしれません。利用者・ヘルパーの皆さんのご協力をいただきながら、今年も一つ一つ支援の積み重ねをしていきたいと思います。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

（管理者　鷹觜　綾）

ヘルパーさん募集中！

障がいのある人たちの中には、「おでかけしたいけれど、ひとりでは難しい…」という方がたくさんいらっしゃいます。そんな皆さんの外出に付き添う大切なパートナー『ガイドヘルパー』が、今とても不足しています。3 日間の養成研修を受ける必要はありますが資格や経験は不問です。登録制なので、自分の都合のよい時間に活動していただけます。主婦の方、学生さん、会社勤めで土日だけ…という方、あすはにもたくさんの方々が登録されています。ぜひ、興味のある方は『サポートネットあすは』にお問い合わせください！

あすはkids

【放課後等デイサービス】

夕方 6 時まで開いているあすは Kids にとって公園に出かけた時など「秋の日はつるべ落とし」は場合によっては暮れなずむうす暗闇の中でおやつを食べることにもなってしまいます。それでも、子どもたちは広々とした戸外で走ったり歩いたり、ブランコに乗ったりするのが好きなので、「すぐに暗くなっちゃうね」と言いつつ、公園に向かいます。色づくイチョウやもみじ、沈みゆく大きな夕日、自分の長い影を目の当たりにしながら、枯葉の上をザクザク音を立てながら歩くのです。先日は 11 月の意表をついた雪にも遭遇して、雪塊を投げたり蹴ったりして遊んだお友だちもいました。そんな四季の移ろいの中で、自然の断片に何かを感じながら、子どもたちは確実に成長しています。

（管理者 三浦明雄）

おおぞら会後援会ニュース

新年、あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、よき新春を迎えられたことと、謹んでお慶び申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り深く感謝申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

さて、おおぞら会後援会の活動ですが、秋から冬にかけての催事がございました。本紙の表紙でも紹介しております「はばたけ秋まつり」では、利用者ご家族の方を中心としてミニバザーや模擬店を出店いたしました。当日は盛況となり、近隣地域の方々と関わりを深めていこうというおおぞら会の思いが、形になっていることを目の当たりにする一日でもありました。例年、後援会としても活動計画を作っておりますが、その活動が収益をあげることだけでなく、法人理念の実現の一助となっていることを実感できる貴重な機会となりました。そして 11 月には三鷹市社会福祉協議会主催の「福祉バザー」にも参加いたしました。準備・当日要員・片づけにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

また、こうした催事の場では、普段はなかなか顔を合わせる機会がない別の事業所の職員・利用者ご家族の方が集まることができます。日頃はそれぞれの施設・職場・ご家庭のことで忙しいと思いますが、「おおぞら会」や「後援会」という大きなまとまりを感じ取り、お互いに力を合わせてこれからも歩んでいければと考えています。今後ともお力添えのほど、よろしくお願いいたします。

社会福祉法人おおぞら会後援会会長　吉野　壽夫

★後援会新規ご入会・ご更新（敬称略）

個人６０名、団体５社から、ご入会・ご更新の手続きをいただきました。
ありがとうございました。

★後援会へ寄附（敬称略）

個人８名、団体１社からご寄附をいただきました。
ありがとうございました。
ご寄附は大切に活用させていただきます。

★後援会経由　　法人・各事業所へ寄附（敬称略）

個人６名の方からご寄附をいただきました。

ありがとうございました。
ご寄附は大切に活用させていただきます。

だよりを郵送の方に振込用紙を同封しております。
今年度すでにご入会いただいている皆様にも同封する形になってしまいますことを、ご了承ください。

（以上、9/1～11/30　集約分）皆様　ありがとうございました。

＊後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします＊

年会費　１口　個人…２０００円　団体…１００００円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座　00160-0-39163　　口座名義：　社会福祉法人おおぞら会後援会

＊おおぞら会後援会とは・・・＊

社会福祉法人おおぞら会の理念に賛同し応援する団体です。皆様からいただいた会費は、おおぞら会の各事業や今後展開される事業に対する広報・ボランティア・寄付等、後援会活動に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

1977 年 12 月 3 日第３種郵便物認可(毎月 18 回 1･2･3･5･6･7 の日発行) 2016 年 12 月 24 日発行ＳＳＫＰ増刊通巻 6506 号はばたけだより NO.132

information

在宅介護をまるごとサポート！

野ざきの家を利用しませんか？

●「小規模多機能型居宅介護　野ざきの家」とは…

★三鷹市指定の地域密着型サービスの 介護保険事業 です。

★日中の**「通い」**(デイサービス)を中心に、その方の生活状況に合わせて**「訪問」**(ホームヘルプ)や**「宿泊」**(ショートステイ)を一つの事業所で組み合わせて利用できます。介護支援専門員（ケアマネジャー）は「野ざきの家」になります。

～こんな方が利用されています（一例）～

・もの忘れが心配な方でちょっとしたご自宅の支援や出かける場所が欲しい方。
・ご家族が近くにおらず、ひとりでは健康状態が心配な方。
・ご家族の都合や介護の休息なども考慮し、柔軟にスケジュールを組みたい方。
・慣れた場所、馴染みの地域で泊まりを利用したい方。
・最期を自宅で迎えたい方。（条件や確認事項あり）

●利用できるのは…

三鷹市にお住まいで要支援１・２　要介護 1～5 の介護認定を受けている方

ご利用内容のご相談や費用等些細な疑問、質問等がありましたらお気軽にご連絡下さい。

0422-30-5575（野ざきの家：齋藤）

社会福祉法人おおぞら会

・ｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨｾﾝﾀｰはばたけ（生活介護事業）	三鷹市野崎 3-17-9	tel 0422-32-3234
・工房時（就労移行事業･就労継続 B 型）	三鷹市野崎 2-6-41	tel 0422-30-5571
・野ざきの家（小規模多機能型居宅介護事業）	三鷹市野崎 2-6-41	tel 0422-30-5575
・サポートネットあすは（移動支援[居宅介護]事業）	武蔵野市八幡町 1-6-1	tel 0422-36-5151
・あすは Kids（放課後等デイサービス）	武蔵野市八幡町 1-6-1	tel 0422-36-5151
・ショートステイさくら（短期入所事業）	三鷹市井の頭 4-22-6	tel 0422-32-3234
・つなぐなかまの家（共同生活介護）		

私の勤める施設では、ここのところ次々と設備の不具合や劣化による修理等により修繕費がみごとに消えていっている。それもそのはず…毎日利用者、職員合わせて 40 人以上が施設を使い、気がつけば 19 年の年月が経っているのだ。「しょうがないか」…最近の事務員との会話で一番多い言葉は予算を使うときのこの一言かもしれない。19 年…一緒に年を取っている私も、気力体力を毎日フル回転で酷使(？)した身体の疲労感・回復力は 19 年前のそれとは違い、最近はメンテナンスも簡単ではない。さすがに設備のように新品に取り換えられないが、「これだけやってきたんだから、ちょっとほころびが出てもしょうがないか！」と時に労いながらリフレッシュして、自分を大切に使っていってあげたい…と思うこの頃。さて、新年の始まり…今年もがんばろう！　（いりくらあきこ）

発行　障害者団体定期刊行物協会　〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21　〔頒価　50 円〕
企画･編集　社会福祉法人おおぞら会　　編集責任者:入倉暁子